



とちぎマイスター「建築大工（大工工事作業）」の技能の例

規く術による「在来軸組工法」の古来建築

わたなべ つねし
渡邊 常司

足利市 在住

渡邊建築 (TEL 0284-62-5910)

高度な技術・技能による在来軸組工法

(現在の仕事)

現在は、和風住宅のリフォーム工事を中心に取組んでいる。

また、足利市共同校等産業技術学校の副会長として後進の育成にあたっている。

(得意な分野)

数寄屋造りの住宅を始めとする木造住宅や社寺の新築・改修工事等を数多く手掛けてきた。

中でも、丸太築を用いた在来軸組工法による和風住宅の建築を得意とし、丈夫で長持ちな美しい和風住宅は、高い評価と信頼を得ている。

一生勉強。伝統技能の継承を忍耐強く

時代の流れにより、プレカットの工業化された住宅建築に押され、在来軸組工法の木造建築が年々減少している。

木造建築の複雑な接合部分を、差し金1本で巧みに作り上げていく規く術により、在来軸組工法の丈夫な木造建築を造り上げる技術は、日本が世界に誇る技術である。

私自身も50年余にわたり、日本古来の建築の技能の向上に努めてきた。

こうして培った知識と技能を活かし、今後も若い技能者に伝統ある日本建築の技能を伝承していきたいと思っている。若い技能者の方にも、忍耐強く、技能の修得に励んでほしい。

